

令和 5 年度第 3 回佐久市立中学校運動部活動の地域移行協議会 会議概要

日 時	令和 6 年 3 月 5 日（火） 午後 1 時 3 0 分～ 3 時
場 所	佐久消防署 3 階講堂
出 席 者	裏面のとおり
協議事項	（１）第 2 回協議会の経過確認 （２）部活動地域移行のアンケート調査等の結果報告について （３）令和 6 年度佐久市立中学校 運動部活動の地域移行について （４）質疑・意見交換
協議概要	（１）第 2 回協議会の経過確認
委 員	（２）部活動地域移行のアンケート調査等の結果報告について ○アンケートの結果から、地域移行時に必要となる予算の概算などを出していないといけない。補助がどのくらい出せるのか、地域の指導者を確保できるのか等具体的に考え、次の一步を考えて行く必要がある。 ○地域移行の状況を知らない人が多い。指導者に状況を知らせるためにもアンケートが必要だと思われる。 ○「佐久市の方針」が出される予定だが、現在は市がどのように地域移行の姿を捉えているか伝わってこない。教員が苦勞して部活動を支えている現状がある。学校としても協力するので、市内のどの中学校に行ってもやりたい部活動ができるよう、大きな柱の方針を示して欲しい。 ○持続可能な仕組みを作るため、平日も含め一気に地域移行して社会体育のような形式で行っていくことが望ましい。 ○バレーボール協会では議論を進めており、具体的な保護者負担金額も試算している。世代交代したあとの 8 月から実際に動いていく予定で、動きながら修正していく。会議も開催していくので、市にも入ってもらい、現場の声に耳を傾けていただきたい。
事務局	●今回実施したアンケート調査結果を基に、6 月に市としての方針を出す予定。具体的なことについては競技別の部会等において、市の担当も参加しながら関係者で相談をしていくことを想定している。指導者の方にも部会に入ってください、情報提供していくことも一案である。
委 員	（３）令和 6 年度佐久市立中学校 運動部活動の地域移行について ○ほかの種目がどのように動いているのか分からないので、横のつながりを持って情報交換をしていく場が必要。特に個人競技と団体競技では違う部分があるので、情報交換ができれば互いにやり方を検討できると思う。 ○生徒との対話について資料に記載があるが、当事者目線での意見は非常に大事な部分である。
事務局	●各部会での議論をこの協議会の場で共有しながら進めたい。協議会に全ての競技は入っていないので体制も再考していく。佐久市議会の答弁でも生徒との対話実施を答弁しており、議論を進めるためにも対話を大事にしていきたい。
委 員	（４）質疑・意見交換 ○この協議会は「運動部活動」の地域移行協議会となっているので、文化部も含めた体制として吹奏楽系も入れてもらいたい。 ○今後生徒が活動を継続するため、各競技団体や各協会と学校をつなぐ役割の先生が必要。
事務局	●情報交換のため各競技の状況の一覧表を作成し、参考にできるようにしていく。また、アンケートを基礎資料とし、生徒や P T A と対話を行い意見を参考にしていく。

出席者（委員１６名）

No.	氏 名	所属等
1	原 拓男	識見者（アテネオリンピックバスケットボール競技・女子選手団長、元教育長職務代理）
2	宮島 卓朗	佐久市立浅間中学校 校長
3	北垣内 博	佐久市立中込中学校 校長
4	芝野 崇	佐久市立東中学校 校長
5	小林 新治	佐久市立臼田中学校 校長
6	佐藤 元昭	佐久市立浅科中学校 校長
7	山中 美佳	佐久市立望月中学校 校長
8	伊坂 倉一	（特非）佐久市スポーツ協会 会長
9	大塚 寛美	佐久市スポーツ推進委員 会長
10	篠原 一郎	（特非）もちづき総合型クラブ 理事長
11	荻原 和章	（特非）もちづき総合型クラブ（学校運動部活動指導士）
12	土屋 岳	岸野スポーツクラブ 会長
13	原 暁生	佐久平バレーボール協会 総務委員長
14	澤尾 光弘	佐久バスケットボール協会 理事長
15	塩川 元弘	佐久地区剣道連盟 会長
16	柿沼 宏直	東信教育事務所 生涯学習課

事務局（７名）

No.	氏 名	所属等
1	吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
2	木内 進	スポーツ課 課長
3	三浦 達弥	スポーツ課 スポーツ推進係 係長
4	神津 拓也	スポーツ課 国民スポーツ大会準備係
5	武石 昌宏	文化振興課文化振興係長
6	太田 敬輔	文化振興課文化振興係
7	吉澤 貢	（特非）佐久市スポーツ協会 事務局長